

緊急避妊薬の調剤における薬剤師の対応手順

- ⑩処方箋及び情報提供文書の内容を確認する。
送信元が産婦人科以外の場合、処方医が研修を修了しているか確認する。
- ①患者がオンライン診療を受診した本人であることを確認する。
- ②患者の心理状態等に心を寄せて対応する。
- ③プライバシー空間の確保を心がける。
(場所(個室・パーティションの利用)、声の大きさ・トーンなど)
- ④調剤済みの薬剤と飲料水・紙コップなどを用意する。
- ⑤患者に禁忌を確認し、副作用などを説明する。
- ⑥患者が服用したことを確認する。
- ⑦処方医に薬局における対応内容について報告する。
- ⑧本手順書をチェックした上で、他の患者情報とともに保存する。

<⑤における説明内容>

- 服用後に嘔吐など副作用が起きた場合の対応を伝える。
- 約3週間後に産婦人科医による直接の対面診療を受診することを説明する。
※可能であれば、受診先医療機関を決めてもらう。
- 確実な避妊法について説明する。
- 何か質問があるかを聞き、適切に答える。

※対応した項目にチェックを付けること。